

## 東日本支部、19年度技術検討会を開催

東日本支部は8月31日、東京都大田区の鷺（おおとり）会館において19年度技術検討会を開催した。28社31名（報道含む）の出席状況であった。

安田支部長は「本来は夏期例会として実施していましたが、昨年より技術検討会として2回目の開催の運びとなりました。業界状況は大半の会員各社に於かれては需要拡大のなか技術者不足の感を強めていると聞いており、大手のある会社では2年先までの人員確保に努められているようです。需要として従来の新設・定検・メンテナンス等の業務と構造物の経年劣化に関する保全維持の業務が加速されると推測されます。需要拡大を想定し各社



技術検討会のもよう

とも社員の増員計画を進めていると思いますが、なかなか実態は難しいようです。非破壊検査業務の重要性を評価され確実に前進することを確信しております。」と述べ挨拶とした。

続いて、非破壊検査職業危険賠償責任保険アンケート結果報告が行われた。

JSNDI評議員選挙の候補者について、リストを作成し周知要請を行った。

耐震関連部会が作成した「公共施設の耐震診断現地調査マニュアル」について、公共施設の耐震診断現地調査マニュアル「鉄筋コンクリート造編」を中心に作成に携わった一級建築士、富山検査（株）の田村公一部長より①鉄筋コンクリート造編、②鉄骨編の説明がなされた。

特別講演として、「企業の不祥事は何故おこるのか、どうしたら防げるのか」をテーマに（社）都市エネルギー協会会長 吉田 武治氏の講演が行われた。

その後、会場を大森駅前に移し、参加者26名にて和やかな雰囲気のもと懇親がなされた。



富山検査（株）田村公一氏